

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名: 超高压電子顕微鏡センター

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 材料科学や、医学生物学への応用、理論・観察手法の開発を着実に推進するとともに、超顕微科学研究拠点事業の一環として、電顕用パルス電子源の開発・応用による新分野創成を目的とした企業との共同研究により、超顕微科学のための新しい電顕用電子源開発に貢献したことが評価できる。また、多くの論文業績が得られていることも評価できる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 企業や研究機関との間で共同研究講座や、共同研究を積極的に推進することにより、先端電子顕微鏡改正手法の確立などを通じて、製品開発や人材育成に貢献したことが評価できる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。